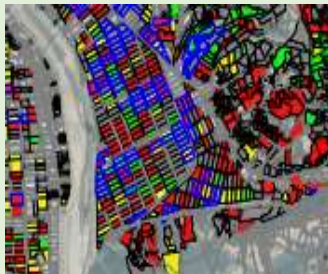


地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年12月末時点）

茶・みかん等の地域における担い手不足への対応				静岡県藤枝市 稲葉地区	
農業を担う者数 （うち担い手）	31経営体 （16経営体）	農地面積 （うち農振農用地）	402ha （98ha）	主な農畜産物	茶、みかん
農業地域類型	中間農業地域	遊休農地	37ha	現状の集積率 （目標）	4.5 % （10%）

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・本地域は、中央を流れる瀬戸川沿岸に集落と水田が広がり、それを取り囲むように隣接する傾斜地の農地で、茶、みかん等が栽培されている。 ・高齢農家が多いことから、今後、離農などによる耕作放棄地の増加が懸念される。 ・平野部において、若手新規就農者が参入している。 ・有機栽培を行っている農業者が増えている。 	・地域の担い手となり得る者を参集した話し合いの場において、出される意見を参考に方向を決めていく予定。 ○7月4日の意見の概要 ・中心経営体の経営作物の現状把握の確認 ・新たな担い手の掘り出しを図り、それらを営農意向を色で表した地図などにより書き起こした。 

協議を進める過程で発生した課題	取組経緯（課題への対応）及び今後の予定
・地域計画の策定に向け、令和5年2月に、地区内の全農家に対して、往復ハガキで10年後の農業経営の意向に関するアンケートを実施したところ、約3割の農家が「離農」と回答。 ・このため、地区内で解決手法（規模拡大意向の農業者の発掘、若手新規就農者の育成、入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進するなど）を話し合い、担い手不足の解消に向けて対応していく方針。	・令和5年7月4日に実施した関係者による協議の場において、アンケート結果を図示した現況地図を参加者に図示しながら、中心経営体以外で地域農業を担う見込みのある農業者について聞き取りを行った。 ・12月18日、19日、21日の3日間、担い手となる農業者に「地域計画」の趣旨を理解してもらい、具体的な経営意向を把握するための会合を開催した。 ・令和6年1月に地区部農会総会において、「地域計画策定について」協議を行った。 ・2月20日に担い手による協議の場を開催した。 ・7月に担い手を対象に規模拡大の意向と、具体的な耕作内容のアンケートを実施し地図化した。 ・8月16日、11月28日に協議の場を開催し、12月末に協議の結果を公表した。 ・2月～3月に意見聴取、縦覧を経て3月に策定・公表する。 